



状況



整備中区間【蔵王成沢工区 (常盤橋下流～陸合橋)】



事業着手前の状況 (常盤橋上流付近)



令和2年7月豪雨時の状況 (常盤橋付近)



常盤橋周辺事業説明会 (令和7年9月)



築堤工【前明石工区 (令和8年2月撮影)】

進捗度とその内容

- 1 プロジェクトの説明
現場調査のために地域の皆様へプロジェクトの説明を行います。現地調査の協力をお願いします。
- 2 測量・地質調査
堤防などの設計に必要な資料の収集・測量・調査を行います。
- 3 堤防などの設計
収集した資料や測量図面を基に堤防などの設計を行います。
- 4 設計内容の説明
地域の皆様へ堤防等の設計内容や用地取得に関する説明を行います。
- 5 用地幅杭設置
設計に基づき堤防等の工事に必要な用地範囲を示す杭を打設します。
- 6 用地・物件の調査
堤防等に必要な用地、建物等の調査を行い、所有者立会いのもと、用地境界等の確認を行います。
- 7 補償の説明・契約 **今はココ(PJ)**
用地・物件調査の結果を基に所有者の皆様へ補償内容の説明を行い、契約締結後、補償金の支払いを行います。
- 8 工事 **今はココ(全体)**
設計に基づき工事をを行います。
- 9 完成

概要

- 事業着手：昭和50年度
- 延長：10.5km (蔵王成沢工区1.5km、前明石・吉原工区3.5km)
- 整備内容：流下能力を向上させるため、築堤、河道掘削、等を実施
- 沿川には住宅地や工場などが集積
昭和42年の羽越水害では950戸が家屋浸水、180ha浸水

進捗状況

- 飯塚橋～門伝橋区間は、R3までに暫定整備済
- 門伝橋～常盤橋下流区間 (前明石・吉原工区) は、交付金事業にて実施中
- 常盤橋下流～陸合橋区間 (蔵王成沢工区) は、令和4年度に個別補助事業 (大規模特定河川事業) として事業着手

令和8年度実施内容

- 築堤工、樋門工、調査設計、用地補償 等